



2024 年（令和 6 年）10 月 2 日午後 2 時

府政記者会 会員各位
大阪科学・大学記者クラブ 会員各位
枚方記者クラブ 会員各位

琵琶湖淀川流域の生物多様性の保全を推進 おおさか環農水研と琵琶湖博物館は連携協定を締結します

おおさか環農水研と滋賀県立琵琶湖博物館は、これまで天然記念物イタセンパラの保全や、琵琶湖・淀川水系の淡水魚の調査研究について共同で取り組んできました。このたび、これらの調査研究や、教育普及、情報発信等の連携をより一層強化し、生物多様性保全の推進及び社会貢献に寄与することを目的として、連携協定を締結します。

締結式では、両者が飼育し保全活動等を進めている絶滅危惧種のイタセンパラとイチモンジタナゴを、生息域外保全※の強化及び普及啓発への活用のために交換します。また、締結を記念して琵琶湖博物館では式当日から、生物多様性センターでは翌日から連携展示を開始します。

【連携協定締結式の概要】

1. 日時：2024 年 10 月 8 日（火曜日）午後 1 時 30 分から
2. 場所：滋賀県立琵琶湖博物館セミナー室（滋賀県草津市下物町 1091）
3. 概要
 - ・ おおさか環農水研理事長および琵琶湖博物館館長による協定書署名
 - ・ イタセンパラ（環農水研⇒琵琶湖博物館）・イチモンジタナゴ（琵琶湖博物館⇒環農水研）の交換
 - 閉会後、連携展示のイタセンパラ水槽除幕式を行います。
 - 締結式の取材は事前（前日まで）に琵琶湖博物館へご連絡ください。



イタセンパラ（天然記念物）



イチモンジタナゴ（滋賀県指定希少野生動植物種）

二次元バーコードは魚の解説ページ（図鑑）へリンクしています。

https://www.knsk-osaka.jp/zukan/zukan_database/tansui/list.html

連携展示について裏面に続きます

【連携展示】

琵琶湖博物館

1. 開催期間：2024 年 10 月 8 日（火曜日） から 2024 年 12 月 24 日（火曜日）まで
2. 開催場所：琵琶湖博物館水族展示室内 水族企画展示室
3. 料金：常設展示料金で観覧可能
4. 概要：生物多様性センターから来たイタセンパラのほか、ヨドゼゼラ、コウライモロコ、シマヒレヨシノボリなど淀川に特徴的な魚種を中心に展示予定。

おおさか環農水研生物多様性センター

1. 開催期間：2024 年 10 月 9 日（水曜日） から 2024 年 12 月 26 日（木曜日）まで
平日 午前 9 時 30 分から午後 5 時（12 月から 3 月は午後 4 時まで）
2. 開催場所：おおさか環農水研生物多様性センター 展示室
（大阪府寝屋川市木屋元町 10-4）
3. 料金：無料
4. 概要：琵琶湖博物館から来たイチモンジタナゴや、琵琶湖に特徴的なホンモロコ、スゴモロコ、オウミヨシノボリなどを展示予定。

同時提供

大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター

（記者クラブ：府政記者会、大阪科学・大学、枚方）

担当：山本 電話：072-833-2770 E-mail：Biodiv（アット）knsk-osaka.jp

滋賀県立琵琶湖博物館

（記者クラブ：県政・南部）

担当：川瀬、鈴木 電話：077-568-4811 E-mail：info（アット）biwahaku.jp

※1 生息域外保全

絶滅危惧種などを、安全な施設などに保護して、それらを増やすことにより絶滅を回避する方法のことで、絶滅危惧種の保全には、本来の生息地（生息域内）だけでなく生息域外での保全にも同時に取り組むことが重要です。また、複数の場所で生息域外保全を行うことで、より一層、絶滅リスクの軽減が期待できます。